

JA全農

肥料最大4%値上げ

今月からロ侵攻、原油高影響

全国農業協同組合連合会（JA全農）は31日、地方組織に6～10月に販売する肥料について、前期（昨年11月～今年5月）に比べ最大94%値上げすると発表した。輸入の尿素を94%、塩化カリウムは80%、複数成分を組み合わせた「高度化成肥料」は55%それぞれ引き上げ、いずれも過去最高となる。原料調達先のロシアによるウクライナ侵攻などが影響した。

原油高騰に伴う肥料原料価格や輸送費の値上がり、円安進行も価格の押し上げ要因となっている。尿素は

原料のアンモニアが天然ガス高騰に伴い上昇している。中国の尿素輸出規制も影響した。塩化カリウムはロシアとロシアの友好国

ペラルーシが主要な産地で供給が滞っている。JA全農は原料調達先の切り替えを進め、安定確保に取り組むとしている。